

11 月模試終わる

・・・高校生活中間地点の自分

11 月 3 日(土)の総合模試では、これまで通りの国語・数学・英語に加えて、理科・地歴公民も受験しました。受験科目にあるなしとは関係なく、現在の自分の学習状況を知る上でとても大切な模試です。

本日自己採点シートを提出してもらいますが、その結果を正解不正解のみにこだわらずこれまでの自分の学習姿勢そしてこれからの学習計画に反映させてください。

模試に先立って 10 月 31 日(水)の LHR を使ってベネッセの大矢さんに講演をしていただきました。講演主旨は以下のようなものでした。

- 現行受験制度の最終年に当たるため超現役志向が予想される。
- 基礎固めの学習が最終的には発展レベルの伸びにつながる。
- 模試結果を上手に活用する。
- すぐできることから手をつける。
- 時間を「投資」するか「浪費」するか。
- 自分に甘えず結果が出るまで粘り強く取り組む。



模試受験のようす

【参加生徒の感想】

K さん

学習の継続と基礎の重要さに改めて気づきもう一度学習計画を見直そうと思う。勉強を続けてもなかなか効果が出ず焦って不安になることが多かったが半年間継続してようやく実力が伸びると知りやると決めたことは気長に少しずつ積み上げていきたい。受験を意識した参考書や問題集を先日買ったばかりなのでちょうど良い時にやる気も出てどのように活用するか考える参考になる講演だった。

A さん

今日、模試の分析と学習方法について話を聞いて、大学受験に向けての意識が高まりました。第一志望合格へのポイントとして、模試の活用法、学習法を改めて聞くことができい機会になりました。大矢さんの実際の学習方法や失敗談も良いアドバイスになりました。今週末にある 11 月模試に向けて、まずは真剣に取り組み、その後今日聞いたように復習・勉強をコツコツ頑張っていきたいと思います。

講演会を通して

・・・自分の生活に役立てよう

生徒諸君にとってはもはや当たり前のことと感じているかも知れませんが、潮陵高校では他校に比べ本当にたくさんの講話・講演会が企画されおり多角的な視野で物ごとを考えるよいきっかけになっています。

10 月 29 日(月)⑥⑦校時に保健講話が行われ、「がん教育」の一環として北海道がんセンターから滝澤ひとみさんにおいでいただき 1、2 年生がお話をうかがいました。医療系の講演会では医師や大学の立場からの講演をいただくことは多いのですが、がんを体験された患者からの視点でのお話はとても新鮮に感じました。

【参加生徒の感想】

Y さん

女性として髪の毛が抜けてしまったり、胸がなくなったてしまうということは精神的にくると思うし、滝澤さんのようにまだ幼い子どもがいると本当に辛かったらうなと思いました。がんになる確率が 2 人に 1 人というところまで上がってきている今だからこそ、はやめはやめにがん検診に行って、もしがんだったとしても早期発見し、完治し、私の目標である「100 歳まで生きる!」を達成できるようにしたいです。

J くん

今回、医療系の話なので文系の人には関係ないんじゃないかと最初思っていました、実際話を聞くとがんはどんどんなる人が増えていて現在では 2 人に 1 人ががんになるということと他人事ではないということ、また 3 つの C (cancer がん、not caused 誰のせいでもない、not catch 感染しない) を子どもたちに伝えていく義務があること、そして普段聞く事のないがんについての経験談を聞くことが出来たことはがんについての考え方を変える良い経験になりました。

今後の予定

- 11/10 (土) 新入試プレテスト (商大会場)
- 11/23 (金) 勤労感謝の日
- 11/27 ~ 11/30 後期中間考査 (保護者懇談)
- 12/22 (土) ~ 冬季休業